



## 人工知能システムに対する世界の支出額は2019年に約358億ドルに拡大

Japan, 2019年4月2日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、世界全体の人工知能（Artificial Intelligence: AI）システム市場の支出額予測を発表しました。これによるとAIシステムに対する世界の支出額が2019年に358億ドルに達することが予測されています。これは2018年の支出額から44.0%の拡大となります。さまざまな業界がAIソフトウェア機能を活用するプロジェクトに積極的な投資を行っており、最新の[Worldwide Semiannual Artificial Intelligence Systems Spending Guide](#) では、AIシステムに対する支出額が2022年には2019年の2倍以上の792億ドルに拡大し、2018年～2022年の年間平均成長率（CAGR：Compound Annual Growth Rate）は38.0%になると予測しています。

AIシステムに対する世界的な投資が最も盛んな産業分野は小売で、自動顧客サービスエージェントやエキスパートショッピングアドバイザーなどのソリューションに対する企業の投資額は今年59億ドルに達すると見込まれています。2番目に投資額の大きな産業分野は銀行で、56億ドルの投資が自動脅威インテリジェンス / 予防システムや、不正行為分析 / 調査などのAI対応ソリューションに向けられると予測されます。これに組立製造、ヘルスケア、プロセス製造などの産業分野が加わり、今年のAIシステムに対する支出額トップ5の業界を構成するとみられています。2018年～2022年にAIシステムへの支出額が最も急速に拡大すると予測される業界は、政府機関（44.3%のCAGR）、個人向けサービス（43.3%のCAGR）、教育（42.9%のCAGR）です。

「AIイニシアチブが継続的にオペレーションを最適化したり、顧客体験を変革したり、新商品やサービスを生み出す中で、AIシステムへの大幅な支出が世界的にどの産業分野においても見られています」と米国IDC Customer Insights & Analysis リサーチマネージャーのマリアンヌ・ダキラは述べています。また、「このことは、インテリジェントプロセスオートメーションのほか、エキスパートショッピングアドバイザー、医薬品研究開発といったユースケースに裏付けられており、5年間のCAGRは38%を超えています。AI関連テクノロジーの継続的な進化により、10年先まで支出の前年比成長率は2桁に上ると予測されます」と述べています。

今年、最大の投資が見込まれるAIのユースケースは、自動顧客サービスエージェント（全世界で45億ドル）、自動営業プロセスリコメンデーション（27億ドル）、自動脅威インテリジェンス / 予防システム（27億ドル）です。その他2019年に20億ドルを上回る支出額が見込まれる5つのユースケースとして、自動予防保全、診断治療支援システ

ム、不正行為分析 / 調査、インテリジェントプロセスオートメーション、プログラムアドバイザー / リコメンデーションが挙げられています。

2019年に最大の支出が見込まれるAIシステムの分野はソフトウェアで、約135億ドルがAIアプリケーションやAIソフトウェアプラットフォームに向けられるとされています。最も急速な拡大が見込まれるAI支出カテゴリーはAIアプリケーションで、5年間のCAGRは47.3%になると予測されています。企業がAIシステムのサポートに必要なインフラストラクチャの構築を続ける中、サーバーに代表されるハードウェア支出は今年127億ドルに達するとされています。さらに企業は、AIシステムの開発や実装を支援するITサービスのほか、AIシステムに関連するコンサルティングやビジネスプロセスアウトソーシングに対しても投資を行っています。この予測期間末までに、AI関連サービスに対する支出はハードウェア支出にほぼ並ぶと予測されます。

「IDCでは、AIソフトウェアプラットフォームとAIアプリケーションの両方に対する支出が引き続き上向き傾向にあり、ユースケースの種類も広がっているとみています」と米国IDC Cognitive/Artificial Intelligence Systems リサーチディレクターのデイビッド・シュービメルは述べています。また、「企業はAIソリューションを展開する上で人材配置やデータ、その他の問題など、継続的な課題に直面していますが、AIソリューションがコスト削減、収益向上、情報アクセスの向上や迅速化による意思決定の改善によって、企業の純利益の大幅な向上に役立つと考えています」と述べています。

地域別でみると、米国が、主に小売と銀行の産業分野で、2019年のAIシステムに対する全支出の約3分の2を占めると予測されています。2019年、2番目に支出額が大きい地域は西ヨーロッパで、主な産業分野は銀行、小売、組立製造です。5年間の予測で最も好調な支出拡大が見込まれるのは日本（58.9%のCAGR）とアジア太平洋（日本と中国を除く、51.4%のCAGR）です。中国（49.6%のCAGR）もこの予測期間において好調な支出拡大が予測されます。

「AIはヨーロッパで大きなトピックであり、普及・定着し始めています。AIの導入と支出の両方が急増しています。ヨーロッパ企業は、AIに実践的に取り組み、試験段階から実施段階へと移行しています。AIは、競争の激しい環境、特に小売や金融といった顧客接点を持つ産業分野において大変革をもたらす要素となっています。このような産業分野では、AIがバーチャルアシスタントや商品リコメンデーション、ビジュアル検索によって顧客体験を次のレベルに押し上げる力を持っています。ヨーロッパでは、Sephora、ASOS、Zaraといった多くの小売業者や、NatWest、HSBCなどの銀行が、来店者数の増加、収益拡大、コスト削減、より快適でパーソナライズされたカスタマージャーニーなど、AIの効果をすでに体験しています。プロセスの自動化に関連する業界固有のユースケースが主流となっており、その焦点はパーソナライゼーションや予測の目的というAIの次世代型使用に移行し始めています」とIDCヨーロッパ Customer Insight & Analysis シニアリサーチアナリストのアンドレア・ミニョンヌは述べています。

[Worldwide Semiannual Artificial Intelligence Systems Spending Guide](#) では、幅広い非構造化情報に基づくアドバイザーサービスの分析、編成、アクセス、提供を行うテクノロジーに対する支出額を推定しています。この支出ガイドは、9つの地域の19の産業分野

にわたる25のユースケースのデータ提供し、AIのビジネスチャンスを数量化しています。ハードウェア、ソフトウェア、サービスのカテゴリーに関するデータも入手できません。市場機会を捉えて効果的な戦略の実施を希望するサプライヤーにとって、この業界に関する他のどんな調査よりも、詳細なセグメント情報とタイムリーなグローバルデータは有益です。

#### IDC Spending Guideについて

IDC Spending Guideは、主要テクノロジー市場の動向を、地域、産業、ユースケース、バイヤー、テクノロジーの観点から詳細に分析しています。IDC Spending Guideは、ピボットテーブル形式またはカスタムクエリツールによるセルフサービス型サービスとして提供され、ユーザーはデータのトレンドや関係を見ることによって、各市場に関する有益な情報を簡単に抽出することができます。

※本プレスリリースは2019年3月11日の米国IDC（マサチューセッツ州 フラミンガム）による発表の日本語訳をベースとしてします。

#### About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at [www.idc.com](http://www.idc.com).

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

#### For more information contact:

jp-Press Japan  
jp-press@idcjapan.co.jp  
+81-3-3556-4768